

インマヌエル中目黒キリスト教会

2013年8月25日聖日礼拝

使徒の働き連講⑬

「教会全体に恐れが」

使徒の働き 4章32-37節
5章1-11節

竿代照夫 牧師



聖書朗読

新約聖書

使徒の働き 4章32-37節 5章1-11節

聖書本文は新改訳聖書第三版
(©新日本聖書刊行会) を使用しています。

第二版の聖書はp215~/ 第三版の聖書はp234~

- 32 信じた者の群れは、心と思いを一つにして、だれひとりその持ち物を自分のものと言わず、すべてを共有にしていた。
- 33 使徒たちは、主イエスの復活を非常に力強くあかしし、大きな恵みはそのすべての者の上にあった。
- 34 彼らの中には、ひとりも乏しい者がなかった。地所や家を持っている者は、それを売り、代金を携えて来て、

- 35 使徒たちの足もとに置き、その金は必要に従っておのおのに分け与えられたからである。
- 36 キプロス生まれのレビ人で、使徒たちによってバルナバ(訳すと、慰めの子)と呼ばれていたヨセフも、
- 37 畑を持っていたので、それを売り、その代金を持って来て、使徒たちの足もとに置いた。

- 1 ところが、アナニヤという人は、妻のサツピラとともにその持ち物を売り、
- 2 妻も承知のうえで、その代金の一部を残しておき、ある部分を持って来て、使徒たちの足もとに置いた。
- 3 そこで、ペテロがこう言った。「アナニヤ。どうしてあなたはサタンに心を奪われ、聖霊を欺いて、地所の代金の一部を自分のために残しておいたのか。

- 4 それはもともとあなたのものであり、売ってからもあなたの自由になったのではないか。なぜこのようなことをたくらんだのか。あなたは人を欺いたのではなく、神を欺いたのだ。」
- 5 アナニヤはこのことばを聞くと、倒れて息が絶えた。そして、これを聞いたすべての人に、非常な恐れが生じた。
- 6 青年たちは立って、彼を包み、運び出して葬った。

- 7 三時間ほどたって、彼の妻はこの出来事を知らずに入って来た。
- 8 ペテロは彼女にこう言った。「あなたがたは地所をこの値段で売ったのですか。私に言いなさい。」彼女は「はい。その値段です」と言った。
- 9 そこで、ペテロは彼女に言った。「どうしてあなたがたは心を合わせて、主の御霊を試みたのですか。見なさい、あなたの夫を葬った者たちが、戸口に来ていて、あなたをも運び出します。」

- 10 すると彼女は、たちまちペテロの足もとに倒れ、息が絶えた。入って来た青年たちは、彼女が死んだのを見て、運び出し、夫のそばに葬った。
- 11 そして、教会全体と、このことを聞いたすべての人たちとに、非常な恐れが生じた。

説教

使徒の働き連講⑬

「教会全体に恐れが」

使徒の働き 4章32～37節
5章1～11節

竿代照夫 牧師



主テキスト

「教会全体と、このことを聞いたすべての人たちとに、非常な恐れが生じた。」

(使徒 5 : 1 1)

はじめに：「一同は聖霊に満たされ」

(4 : 3 1、前回の復習)

A. 初代教会の光 (4 : 3 2 - 3 7)

1. 愛に基づく共有関係 (4 : 3 2 - 3 5)

- ・自由意志と自発性が基本
- ・「兄弟愛」が源泉

2. バルナバの良き模範 (4 : 3 6 - 3 7)

- ・バルナバの登場：クプロ出身のレビ人。
ヨセフが本名、あだ名は
バルナバ (慰めの子)
- ・バルナバの寛大な行為

B. 初代教会の影（5：1－11）

1. エルサレム教会にも問題はあった
 - ・ 愛の分かち合いが「形」になった
 - ・ アナニヤとサツピラの偽善
 - ・ 分配における「不公平」への不満（6章）
 - ・ 初代教会の自浄能力

- ## 2. アナニヤの偽りと裁き（5：1－6）
- ・ アナニヤとサツピラ：アナニヤ（主は恵み深く扱う）とサツピラ（美しい）
 - ・ 偽りの行動の動機
 - ① 功名心
 - ② 競争心と嫉妬
 - ③ 悪い「夫婦どんぶり」
 - ④ 神への畏れの欠如
 - ⑤ 利己心
 - ・ アナニヤへの裁き

3. サツピラの追隨と裁き（5：7－11）

- ・ サツピラの訪問
- ・ ペテロの論点：「御霊を試すとは？」
- ・ 夫と同様の裁き
- ・ 恐れが生じた
 - ① 教会の人々：神の聖さについて
 - ② 教会外の人々：活ける神について

C. 私たちへのメッセージ

1. 神の聖さを再確認しよう
2. 神の憐みに縋ろう